

沼津市総合計画審議会 元気・健康部会における意見のまとめ（事後提出意見※も含む）

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
第2章				
P4～	基本理念	”人を育てる”、”子どもが育つ” といった視点での表記が欲しいと思う	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「誇りとつながり」の部分を下記のとおり修正する。 「地域の魅力を更に高め、未来を担う人を育てていく。」
第3章				
P6	沼津が目指す将来都市像	”人を育てる”、”子どもが育つ” といった視点での表記が欲しいと思う	「人を育てる」「子どもが育つ」という視点は、上記で新たに盛り込んだ基本理念の部分とまちづくりの柱5の中で示したい。	修正なしとする。
第5章 まちづくりの柱1				
P10	①誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり	「シビックプライドを醸成」という部分について、もう少し「人を育てる」ということを強調した表現を望む。 (修正案) 未来を担う市民を育てていく中で、「沼津を愛し、誇りを持ち、自分自身に関わってまちを変えていく」というシビックプライドを醸成する	「人を育てる」という視点は柱5の部分で盛り込みたい。柱1の①の部分では、市民全体を見据えた表現としたい。	修正なしとする。
P10	①誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり	「シビックプライド」など、市民の皆さんに理解されていない可能性がある言葉については、市民の皆さんに分かりやすい言葉への言い換えや、注釈を検討してもらいたい。	他の箇所も含め、用語に関する注釈を記載することとする。	他の箇所も含め、用語に関する注釈を記載することとする。
P10	①誰もがいきいきと輝き躍動できる場づくり	「女性や高齢者の活躍」として、あえて女性と高齢者をここで明記している意図が分かりやすい表現にした方がよい。	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「より一層の社会進出が期待される女性や高齢者の活躍」に修正する。
P10	②多様性を認め合い尊重するまちづくり	障害者についての理解が進んでいない現状を踏まえ、「人間としての共生社会」という言葉をどこかに入れてほしい。 (部会長からの提案) 包摂型の社会、インクルーシブな社会	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「地域に暮らす全ての人が、国籍、年齢、性別、障害の有無、価値観や文化の違いなどにかかわらず、お互いの人権を尊重し、個性を認め合いながら、安心してともに暮らすことができるよう、男女共同参画や多様な性の在り方に対する理解、多文化共生や国際交流などを推進し、差別なく一人ひとりを大切に共生社会の実現を図ります。また、仕事と家庭が充実し、健康で心豊かに暮らせるよう、～」に修正する。
P10	②多様性を認め合い尊重するまちづくり	「仕事と家庭の充実」の部分で、在住外国人に対する教育という視点が必要ではないか。	多様性を尊重した教育を推進することについては、原文の前段部分に含まれるという考え。また、外国人住民の方に対する教育については、柱5の教育に関する部分にも含まれる。	修正なしとする。
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	「コミュニティの維持及び活性化」については、今後 10 年でのコミュニティ組織自体の変化の可能性も含めた表現が良いのではないかと。 (部会長からの提案) 地域に根ざした活力あるコミュニティの維持を図る	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「地域に根ざした活力あるコミュニティの維持を図る」に修正する。

ページ	該当箇所	修正意見等	事務局の考え方	部会の対応（案）
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	「これからの成熟社会に対応するため」の「これからの」というのが、見方によっては、今までは未熟な社会だったのが、これから成熟した社会になっていくという意味に取られると感じる。分かりやすい表現に修正したほうが良いと思う。	すでに成熟社会に向かっており、精神的な豊かさや生活の質の向上が、これからさらに求められていくことについて、対応していくという考え。ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「これからの」を削除する。
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	「新たな活動」という部分が分かりにくい。障害者も含めたあらゆる人を含めた考えであることが分かるよう、「インクルーシブな活動」という表現が良いと思う。	包括的な「新たな活動」という表現で、ご指摘の視点も含んでいるという考え。具体的な施策展開については、基本計画の中で検討していきたい。	修正なしとする。
P10	③社会のつながりやコミュニティの強化	次につながるという意図を表現するため、「世代間交流」ではなく、「世代を超えたネットワークの構築」というような、ただの交流ではなく、いろんな世代の方たちと意思をつながらせてくようなものを構築させるという表現が良いと思う。	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「世代間の交流やネットワークの構築、新たな活動など」に修正する。

第5章 まちづくりの柱5

P14	リード文	「人材」ではなく、例えば、「地域を支える意欲を持った市民になれるよう」という表現が良いと思う。	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「地域を支える意欲のある市民になれるよう」に修正する。
P14	①安心して産み育てるための支援	「多様な悩みを抱える子どもや保護者への支援」だけではなく、「様々な交流や支援」という形で、障害者だけをまとめるのではなく、いろんな人たちとの交流の場を広げていくという表現がよいと思う。	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「多様な悩みを抱える子どもや保護者の様々な交流の場の創出などの支援」に修正する。
P14	①安心して産み育てるための支援	保護者同士が助け合う、支え合うというようなことが言葉を入れてほしい。 (部会長からの提案) 孤立化した子育てを防止し、多様な悩みを抱える～	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「孤立化した子育てを防止、子育て世代の不安や～」に修正する。
P14	②仕事と子育ての両立支援	放課後児童クラブとか子育て支援センターは、すでにあるが、それ以外の子どもの居場所、そういったことが新たなニーズとして出てきているので、そこを明記して欲しい。 (部会長からの提案) 放課後児童クラブや子育て支援センターなど、子どもが安心して過ごすことのできる、様々な場の充実に努めます (他の委員からの提案) 放課後児童クラブや子育て支援センターなどをはじめとする子どもが安心して過ごすことのできる場の充実に努めます。	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「放課後児童クラブや子育て支援センターなどをはじめとする子どもが安心して過ごすことのできる場の充実に努めます」に修正する。
P14	③みんなで支える子育て	外国籍の子どもがととも増えており、子どもの家庭生活がなかなか安定しないところの支援を要望する声がある。「少子化や家族形態の多様化や外国籍家庭(または外国人家庭)の増加が進む中」というような形で表現してもらいたい。 (部会長からの提案) 少子化や家族形態の多様化、国際化	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「少子化や家族形態の多様化、国際化など」に修正する。
P14	③みんなで支える子育て	「職場における」というところを、職場環境や労働環境の改革・改善という視点で、「職場環境の改善や職場における子育てに対する理解の促進を図る」というような表現で検討してもらいたい。	ご指摘を踏まえて修正案を検討する。	「職場における子育てに対する理解や職場環境の改善の促進を図る」に修正する。